

平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 11 月 11 日

上場会社名 中央化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 7895

URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営企画部長 (氏名) 遠藤 勇一 TEL 048-540-2820

四半期報告書提出予定日 平成 27 年 11 月 12 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	30,621	0.9	668	—	444	—	363	—
27 年 3 月期第 2 四半期	30,340	—	△938	—	△771	—	△899	—

(注) 包括利益 28 年 3 月期第 2 四半期 356 百万円 (—%) 27 年 3 月期第 2 四半期 △757 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 2 四半期	18.03	—
27 年 3 月期第 2 四半期	△44.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	42,299	8,425	19.9
27 年 3 月期	42,708	8,068	18.9

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 2 四半期 8,425 百万円 27 年 3 月期 8,068 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 3 月期	—	0 00	—	0 00	0 00
28 年 3 月期	—	0 00	—	0 00	0 00
28 年 3 月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	4.1	800	—	800	—	600	—	29.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	21,040,000株	27年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	891,062株	27年3月期	891,062株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	20,148,938株	27年3月期2Q	20,148,972株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善がみられたものの、中国をはじめとする新興国経済の減速の影響もあり、輸出や生産に足踏み感がみられています。また、中国株価の下落などを背景に、為替市場や株式市場は不安定な動きとなりました。

一方、当食品包装容器市場と極めて関連性の深い一般消費財市場におきましては、足もと緩やかな回復傾向にはあるものの、依然として今後の見通しには不透明感が払拭できず回復は緩慢なペースとなっています。また、7～9月における当社の原材料調達価格は、4～6月の原油価格・為替動向をうけ、4～6月比上昇で推移しました。

このような環境下、当社国内事業においては、7～9月にかけて東京・大阪他各地で展示会を開催し、イベント容器をはじめとした新製品等の紹介・提案を行なうなど拡販強化に努めたほか、地産地消をキーワードとした地域特産品市場への営業強化、ならびに前期から引続き、不採算品の改善・社内コスト削減等を推進した結果、国内業績は前年同期に比べ、売上高は微増ながらも収益面では大幅に改善いたしました。

一方、中国事業におきましては、人民元通貨切り下げに端を発した株式市場急落などにより経済減速等の懸念要素はあるものの、一般消費財購買動向には未だ顕著な変化は見られず、当社中国事業についても引続き市場からの安心・安全への希求は強く、増収増益の基調が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が30,621百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益668百万円(前年同期は938百万円の損失)、経常利益444百万円(同771百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は363百万円(同899百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び順資産の状況

(資産)

資産は、建設仮勘定の増加が816百万円等があった一方、現金及び預金の減少455百万円や製品及び商品の減少649百万円等により、前連結会計年度末と比べ408百万円減少し42,299百万円となりました。

(負債)

負債は、短期借入金の減少500百万円や長期借入金の減少539百万円等により、前連結会計年度末に比べ765百万円減少し33,874百万円となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益363百万円等により、前連結会計年度末に比べ356百万円増加し8,425百万円となり、自己資本比率は19.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,727百万円となり前連結会計年度末に比べ455百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,408百万円、たな卸資産の減少744百万円等があった一方、売上債権の増加481百万円等があり、1,827百万円(前年同期比1,473百万円の増)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得484百万円等があり、446百万円(前年同期比369百万円の増)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済681百万円やリース債務の返済761百万円等があり、1,793百万円(前年同期比390百万円の増)の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成27年11月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前連結会計年度の有価証券報告書の事業等のリスクにおいて「継続企業の前提に関する重要事象等」を記載しておりますが、前連結会計年度まで6会計年度連続で営業キャッシュフロープラスを計上していることや、当第2四半期累計期間においても営業キャッシュフロープラスおよび連結営業利益668百万円を計上し、通期においても、開発・受注・原料調達・製造・製品配送・管理に至るあらゆる工程での効率化を推進することで、連結営業利益の黒字を見込んでおりますので、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,189	2,733
受取手形及び売掛金	9,484	10,053
商品及び製品	6,227	5,577
仕掛品	678	660
原材料及び貯蔵品	1,462	1,318
繰延税金資産	10	16
その他	1,982	1,812
貸倒引当金	△16	△20
流動資産合計	23,020	22,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,174	6,051
機械装置及び運搬具（純額）	2,901	2,687
土地	4,563	4,563
リース資産（純額）	4,069	4,066
建設仮勘定	180	996
その他（純額）	750	727
有形固定資産合計	18,639	19,093
無形固定資産		
リース資産	1	—
その他	485	496
無形固定資産合計	486	496
投資その他の資産		
投資有価証券	327	281
長期貸付金	216	215
破産更生債権等	47	41
繰延税金資産	72	72
その他	145	187
貸倒引当金	△246	△240
投資その他の資産合計	561	557
固定資産合計	19,688	20,147
資産合計	42,708	42,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,967	10,694
短期借入金	5,500	5,000
1年内返済予定の長期借入金	1,355	1,364
リース債務	1,493	1,424
未払金	2,354	3,117
未払法人税等	65	67
未払消費税等	493	196
賞与引当金	115	120
災害損失引当金	77	67
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	11	11
その他	646	772
流動負債合計	23,114	22,869
固定負債		
長期借入金	6,911	6,372
リース債務	2,842	2,906
役員退職慰労引当金	25	28
債務保証損失引当金	39	39
退職給付に係る負債	1,497	1,433
資産除去債務	7	7
その他	202	217
固定負債合計	11,525	11,005
負債合計	34,639	33,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	△2,746	△2,382
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	8,084	8,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	54
繰延ヘッジ損益	9	△1
為替換算調整勘定	957	877
退職給付に係る調整累計額	△1,022	△953
その他の包括利益累計額合計	△15	△22
純資産合計	8,068	8,425
負債純資産合計	42,708	42,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	30,340	30,621
売上原価	24,976	23,416
売上総利益	5,364	7,204
販売費及び一般管理費	6,302	6,536
営業利益又は営業損失(△)	△938	668
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	3	4
受取保険金	69	1
受取賃貸料	29	26
為替差益	172	—
その他	87	69
営業外収益合計	375	108
営業外費用		
支払利息	117	116
売上割引	32	26
為替差損	—	147
その他	58	40
営業外費用合計	208	331
経常利益又は経常損失(△)	△771	444
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	24
特別利益合計	0	24
特別損失		
固定資産除売却損	19	4
投資有価証券売却損	0	—
災害損失	41	35
特別損失合計	61	39
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△832	429
法人税、住民税及び事業税	65	70
法人税等調整額	0	△5
法人税等合計	66	65
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△899	363
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△899	363

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△899	363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	15
繰延ヘッジ損益	13	△11
為替換算調整勘定	115	△80
退職給付に係る調整額	—	69
その他の包括利益合計	142	△6
四半期包括利益	△757	356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△757	356

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△832	429
減価償却費	1,371	1,408
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△1
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△30	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	3
受取利息及び受取配当金	△15	△11
支払利息	117	116
為替差損益(△は益)	△16	64
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	0	△24
有形固定資産除却損	10	4
有形固定資産売却損益(△は益)	8	—
売上債権の増減額(△は増加)	△155	△481
たな卸資産の増減額(△は増加)	△138	744
仕入債務の増減額(△は減少)	274	△156
未払消費税等の増減額(△は減少)	223	△294
その他	△293	167
小計	524	1,965
利息及び配当金の受取額	15	11
利息の支払額	△118	△93
法人税等の支払額	△66	△55
営業活動によるキャッシュ・フロー	354	1,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△336	△484
固定資産の売却による収入	0	1
定期預金の預入による支出	△12	△12
定期預金の払戻による収入	269	12
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	3	99
貸付金の回収による収入	2	—
破産更生債権等の回収による収入	1	—
その他	0	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76	△446
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△500
長期借入れによる収入	—	150
長期借入金の返済による支出	△682	△681
リース債務の返済による支出	△720	△761
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,402	△1,793
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,038	△455
現金及び現金同等物の期首残高	3,836	3,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,798	2,727

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,541	3,799	30,340	—	30,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	749	818	△818	—
計	26,610	4,548	31,158	△818	30,340
セグメント利益	△773	92	△680	△257	△938

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△257百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,682	3,939	30,621	—	30,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	792	841	△841	—
計	26,731	4,731	31,463	△841	30,621
セグメント利益	776	170	947	△279	668

(注) 1. セグメント利益の調整額△279百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。